

合格者が教える！ 残り8ヶ月の採用試験対策

まもなく12月、そしてあっという間に新年がやってきます。気ばかりが焦って、「何からやったらいいのかわからない！」とお悩みの方のために。今夏、採用試験を突破して春から教壇に立つ3名の合格者に、学習のスケジュールや有意義に過ごすためのワザを聞きました。ここに公開される先輩の成功体験・失敗体験(?)をぜひ参考にしてください。

構成・まとめ/編集部

座談会メンバー紹介



田中佑樹 さん

白梅学園大学/東京都・小学校合格

遠藤由美子 さん

早稲田大学/東京都・小学校合格

堀 文彦 さん

東京理科大学/神奈川県・私立高校合格

■合格者はこの時期何をしていた？

—本日はお集まりいただき、ありがとうございます。合格者の皆さんの勉強法をうかがう前に、教員になりたいと思った理由やきっかけみたいなものを教えていただけますか。まずは、田中さんからお願いします。

田中 はい、自分が教員になろうと思ったきっかけは、小学校3、4年生の時の担任の先生が本当にいい先生だったこと。いまだに会うと話しかけてくれたりするぐらいの先生です。自分は当時、悪ガキだったんですけど、それでもよく面倒を見てくれて、親も「あの先生はすごくいい先生だ」という話を、今でもしています。「この先生はすごいな。親の印象にも残る先生になりたいな、自分もそういう道を選んでみようかな」と思ったのがきっかけです。

—ありがとうございます。遠藤さんは？

遠藤 私は子どもの時から子どものことが好きだったので（一同笑）、小学校の時に、自分の成長を見守ってくれる先生の存在がすごく嬉しかったですね。それと、小学校へボランティアで行っていたのですが、そこで自分が付いて面倒を見ていた男の子が、毎週毎週成長していく姿を見て、私も子ども一人ひとりの成長を見守れる仕事に携わりたと思ったのがきっかけです。

—なるほど。堀さんはいかがですか。

堀 小学生や中学生の頃に「将来の夢は何ですか？」と聞かれることがありますよね。あの時に「せっかく生きているんだから、ひとりで人生を終わるのではなくて、いろんな人と関わりたい」と思ったのが一番のきっかけです。教師という仕事は生徒の将来に大きく関わって

くとも魅力的な仕事だと思ったので、教師になりたいと思いました。

もともとピアノを習っていたので、音楽の先生になりたかったのですが、中学から高校あたりで「本当にプロになる人は違うんだな……」と考えるようになっていました。ちょうどその頃、理科の魅力に気づいて「理科は楽しい」と思い始めたので、理科の先生になりたいと思うようになりました。

—わかりました。ところで、皆さん、採用試験の勉強を始めたタイミングはいつからですか。

田中 「始めなきゃ」とは常々思っていたんですけど、ちゃんと始めたと言えるのは年が明けてから。「4年生になったら教育実習もあるぞ。そろそろやらなきゃやばいかも」と気づいて、着手しました。

本当は大学の先生には3年生になったら、すぐ勉強を始めなさいと言われていたのですが、全然実感が湧かなくて。

—実感が湧かなかった？

田中 試験日がまだ遠い先ですよ。「まだ行けるでしょ」

「まだ大丈夫でしょ」と思っていたけれどよく考えてみたら時間がないと気づいた（田中）

「まだ大丈夫でしょ」と思っていたのです。でも4年生になってからでやれるのか、よく考えてみたら時間がないと気づいて。年が明けると気持ちも新しくなるので、初詣に行って「これから、やります！」と。

—神様に誓ってきたわけですね、「頑張ります！」と。そういう区切りの意味で、初詣は非常に便利で重要なイベントかも（笑）。遠藤さんはいかがでしょう。

遠藤 面接対策は10月～11月ぐらいから、同じ学科の友達とやっていたんですけど、1次試験の勉強は私も年明けからですね。ただ大学の授業や試験勉強もあったので、本腰を入られたのは少々遅かったのかな。

—そうですか。堀さんはどうでしたか。

堀 僕の大学では4年生になってから研究室に入ることになっているのですが、僕の入りたかった研究室は理科教育系で、2月頃から3年生が入ることができる研究室。

しかも学科の中では結構忙しい研究室だということを、夏の終わり頃からウワサで聞いていました。

それで「これはあんまり勉強する時間が確保できないんじゃないか？」と思い、11月ぐらいから、今のうちからやっておこうと考えて勉強を始めた感じです。

—皆さん、スタート時期はまちまちというわけですね。ちなみに、一日に平均して何時間ぐらい勉強していましたか。時期によってばらつきはあったと思いますけれど。

田中 3時間ぐらいですかね。

遠藤 筆記だけだったら1～3時間ぐらいです。

堀 僕は1、2時間ぐらいです。

—ちなみにアルバイトは何かされていたのですか。

堀 塾の講師をやっていました。

—なるほど。塾で教えることは採用試験で役立ったと思いますか。

堀 教え方は学校と塾の先生は違うところが多いのですが、板書はきれいに書けるようになりました。

田中 自分は居酒屋です。

—夜遅くまでアルバイトをしていると、勉強の時間が

なくて焦りはありませんでした？

田中 特にはないですね。「バイトはバイト」みたいな。

—メリハリは大事ですね。それでは、次ページから何をやってきたのか、いただいたアンケートを基に具体的にうかがっていくとしましょう。

